PDF Compressor Free Version

EFインターナショナル

設立から丸5年、順調に事業拡大

コンテナ売買・コンサル機能を提供

中古コンテナの売買や改造コンテナの販売を手掛けるEFインターナショナルは今月で設立から丸5年となった。同社はもともと、コンテナリース業界で豊富な経験を持つ中尾治美代表取締役が2010年3月に設立。コンテナのトレーディングを柱としつつ、さまざまな特殊コンテナの取り扱いを手がけ、徐々に業容を拡大してきた。機器の売買だけでなく、顧客ごとの需要に応じた細かなサポートやコンサルティングを提供できるのも強み。最近ではリーファーコンテナやコンテナシールなど、コンテナに関連するさまざまな商品の代理店も引き受けている。「コンテナのトレーディング市場をさらに広げたい」と話す中尾氏。5年間で急成長したEFインターナショナルの現在を紹介する。

CARGO リポート

ＥＦインターナショナルの社員一同（最前列が中尾氏）

多岐にわたる事業

EFインターナショナルの事業内容は多岐にわたっているが、その内容を簡単に説明すれば「さまざまな海上コンテナに加え、コンテナシールやシャーシなど、コンテナに付随するさまざまな商品の調達や販売、リースなどを一手に引き受け、さらにカスタマーサービスや相談、コンサルティングなどのサポート業務を提供している」ということになるだろう。

10年3月の会社発足時は、韓国の中古コンテナ販売会社「極東（Kukdong Maritime Equipment Service）」と組んで事業をスタートした。「極東」は、もともとは韓国内での陸運事業からスタートし約20年の歴史があるが、その後は中古コンテナの売買やコンテナリース事業、さらにコンテナデポなどの事業を相次いで拡大してきた。EFインターナショナルでは、日本で顧客から受けた新造コンテナまたは中古コンテナの売買案件を「極東」につなぎ、それをリーズナブルな価格で顧客に納入する。新造コンテナの売買案件ももちろんあるものの、数量のうえではやはり中古コンテナの需要が大きいという。需要者はそれこそ多種多様だが、最も多いのは中古自動車の輸出業者だという。日本からの中古車輸出台数は年間約120万～130万台で、そのうち約60%がコンテナを利用して輸出されている。40フィートコンテナ1本当たり乗用車を4～5台積載するのが通例で、中古車輸出台数は増加傾向にもあり、今後も数量面では大きなウエイトを占めることとなりそうだ。

特殊コンテナに強み

一方、EFインターナショナルとしては通常のドライバンだけでなく、さまざまな特殊コンテナを扱っているのが強み。

会社発足から程なくして代理店を引き受けた「FBC（Future Box Corporation）」は、「極東」と同じく韓国のメーカーで、スライド式ドアを備えたコンテナの特許・販売を手掛ける。主にスライドドア式コンテナや、オープントップコンテナのハンドリングを飛躍的に容易にした「ハイブリッド・オープントップ」が主力商品だ。スライドドア式コンテナは、従来型コンテナに比べて盗難に対するセキュリティー度が高いだけでなく、作業時の効率性・安全性に優れる。「ハイブリッド・オープントップ」は、天井のポール脱着が飛躍的に容易になったのが特徴だ。一般的なオープントップコンテナは、手作業でポールを脱着する必要があり、保管時に紛失することもしばしばあるなど使いにくい面がある。この点、「ハイブリッド・オープントップ」では天井サイドにレールが付いており、片側のみが固定されている。取り外す際はもう片側のみをレールから取り外し、垂直に立てて1カ所に集めておくことができるため、作業負担が小さく紛失の恐れがない。

特殊コンテナでは、中国の新興タンクメーカー「MCCタンク」が製造するタンクコンテナも取り扱う。同社は、中国最大の冶金メーカーである中国冶金科工集団（MCC）の子会社。日本でも既に導入の実績があり、EFインターナショナルは導入に際して発注から納入だけでなく、EFインターナショナルはさまざまなコンサルティングやサポートも提供した。要請に基づいて実際に現場にも赴き、導入に当たって技術面でのサポートを提供するなど、提供する機能は単なるトレーディングにとどまらない。中尾代表取締役は「各現場の人々は、それぞれの分野については精通している半面、コンテナを取り巻くさまざまな環境がどうなっているのか、という点まではなかなか把握しづらい。船会社やリース会社の視点を含め、業界全体の概況についても広く理解して頂けるよう心がけていきたい」と話す。

ＭＣＣのタンクコンテナ

ＵＥＳのドライコンテナ

タイデンブルックスのコンテナシール

リース代理店も引き受け

13年1月からは、コンテナリース業界に長く身を置いており、EFインターナショナル設立に当たってもリース事業の代理店業務を一つの目標として掲げていたため、この事は同社にとって大きな転機になった。

UESインターナショナルは、もともと中国系のコンテナトレーディング会社GVCT（グランド・ビュー・コンテナ・トレーディング）が欧州で設立したリース会社UESインターモーダル・ハンブルクを前身としている。一時期はドイツの船舶投資システムであるKGファンドを活用して約50万TEUを運用したが、12年初めに一時債務不履行に陥っていた。その後、一部コンテナフリートを処分し、新たな投資会社を得てUESインターナショナルとして再発足。現在は世界170カ国以上にコンテナデポを展開。運用規模は約25万TEUで世界12位となっている。

過去2年間での活動で、導入実績は着実に増加してきた。邦船社だけでなく、国内の近海船社や外航フェリー・RORO船社なども対象に利用拡大を図り、最近では念願だった邦船社による新造バンの長期リース契約の実現にもこぎ着けた。まだ決して数は多くないものの、実績を積み重ねて少しずつ数を増やしていきたい考えだ。これ以外にも、主に近海でサービスを提供する著名なRORO船社やコンテナ船社を対象に新造バンの納入実績を積み上げてきている。価格競争に走るのではなく、「代理店としてのメリットは生かしつつ船社とUES双方にメリットが出るようにしていきたい」（中尾氏）と意気込む。コンテナのトレーディングを手がけるEFインターナショナルのさまざまな機能と組み合わせ、利用者にとって使いやすいサービスの提供を目指していく。

また、コンテナに付随する商品として、コンテナシールの大手であるタイデンブルックス（TydenBrooks）の代理店も引き受けている。同社は「Super Bolt 4」「Intermodal Ⅱ」「Intermodal Ⅳ」など海上コンテナ用の各種セキュリティーシールを備えており、高いセキュリティー性能を持つ。先般、中国で新工場が稼働しており、価格面でもより競争力がつくものと期待されている。

サーモキングのリーファーユニット

中堅のUESインターナショナルの日本代理店業務も開始した。中尾氏自身がコンテナリース業界に長く身を置いており、EFインターナショナル設立に当たってもリース事業の代理店業務を一つの目標として掲げていたため、この事は同社にとって大きな転機になった。

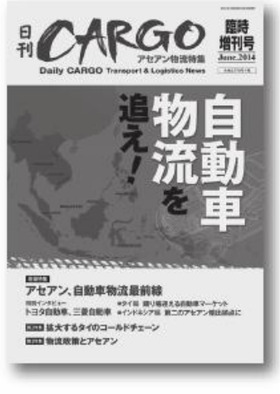
リーファー拡大目指す

このほか、EFインターナショナルは大手冷凍機メーカー、サーモキングの日本代理店も引き受けている。サーモキングはリーファーコンテナの草分け的な存在で、世界で初めて冷凍コンテナを製造した会社でもある。サーモキングとしては、EFインターナショナルを通じて大手3社を始めとする日本の船会社による利用を増やしていきたい考えだ。

サーモキングの主力製品は、マイナス40度の冷却性能を持つリーファーコンテナユニット「マグナム・プラス」やマイナス60度の超低温輸送が可能な「スーパー・フリーザー」といった高性能のリーファーコンテナ機器が強みだ。「マグナム・プラス」は、一般的に使用される冷凍触媒〝R－134A〟に比べ、より高い冷却効率を持つ〝R－404A〟を採用。従来型の「マグナム」が最大マイナス35度だったのに対し、マイナス40度までの冷却性能を発揮可能で、かつ電力消費量なども抑えられている。昨年には、日本と南太平洋を結ぶ航路で多目的コンテナ船によるサービスを展開している協和海運が、この「マグナム・プラス」を導入。

このほかにも外船社を中心に導入が広まっているという。サーモキングはまた、今年からCA（Controlled Atmosphere）コンテナにも力を入れていく方針。同社のCAコンテナとしては、既に01年に導入した「AFAM＋」があるが、今年から新たにアクティブ型のCAコンテナ「マグナム・プラス・オプティマ」を導入。従来のパッシブ型に比べ、より早くCA環境を作り、青果物の品質を維持したまま輸送を可能にする商品として売り込んでいく。

中尾氏は「サーモキングのリーファーコンテナは頑丈で壊れにくく、ガスも漏れにくいなど信頼性が非常に高い。日本でも徐々に導入実績が積み上がってきており、引き続き邦船社を中心に売り込みを強化していきたい」と意欲を示す。



巻頭特集
アセアン、自動車物流最前線
AEC発足でどうなる自動車物流／タイ、インドネシアに生産集約も
■特別インタビュー　トヨタ自動車／三菱自動車
■現地レポート　タイ編／インドネシア編
第2特集　拡大するタイのコールドチェーン
第3特集　物流政策とアセアン

臨時増刊号　June 2014　6月30日発行
日刊CARGO アセアン物流特集
Daily CARGO Transport & Logistics News
本体2,778円＋税

物流総合紙 日刊CARGO 電子版 http://www.daily-cargo.com/
購読申込は…海事プレス社 販売部 ☎：03-5835-4162 FAX：03-5835-4160 E-mail：hanbai@daily-cargo.com